

## う蝕があっても矯正はできる？

矯正治療前にう蝕、根管治療を終了させておくことが大切です。もちろん、成人矯正の場合は歯石除去も大切です。

エックス線写真を撮影しても写ってこない小さなう蝕は経過観察でも大丈夫だとは思いますが、しかし、どこにう蝕が存在しているのかをクリニック内で情報共有しておく必要があると思います。iTero エlement 5D があると、NIRI の機能でエックス線写真を使わず、チェアサイドで素早く確認ができます。

近赤外線撮影のため、被曝もなく、チェアからの

移動も必要ないため、患者さんへの負担も緩和されます（**図1**）。なにより、デジタル機器の強みはまさにイメージの共有です。当院（長尾）では矯正のカウンセリングと同時にう蝕検査もできるため、患者さんと視覚情報を共有するのに役立っています。

話はそれますが、矯正以外にも妊婦さんのカリエスチェックにも活躍してくれています（**図2**）。やはり、エックス線写真撮影に対して少なからず抵抗のある方が見受けられます。この NIRI ならば、近赤外線のため母体だけでなく胎児への影響もありません。

妊婦さんの検診も増えてきたのは、このためでしょうか？ マタニティー歯科外来として、女性に優しいクリニックを目指しませんか？

もちろん、矯正中に妊娠されても大丈夫です。つわり等でカリエスリスクが上がったとしても、NIRI でカリエスチェックしながら進められます。

何はともあれ、矯正を行う際は、う蝕と根尖病変と歯石は絶対に見逃さないようにしましょう。



図1 | 図2

図1 真ん中の赤い光が近赤外線である。この光の反射量でカリエスが見えるようになる（※ NIRI は iTero Element 5D のみの機能）。目に見えない光もレンズを通すと写り込むのが不思議である。

図2 妊婦さんのカリエスチェックの様子。レントゲンと違いエックス線を使用しないため、安全にカリエスチェックできる。

